



# 学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～



平成29年6月12日発行 No.11

文責 塩川小学校長 佐藤 寅記

## 自分の命は、自分で守る ～防犯教室～

9日(金)、防犯教室が行われました。自分の命を守るための訓練は、交通教室、避難訓練に続いて3回目となります。講師は、喜多方警察署の渡部スクールサポーターと、生活安全課の岩澤補導員さんでした。お二人には、次の3点を教えていただきました。

- 不審者には、2m以上近づかないようにするため、「心の棒」を出して危険を回避する。
- 車に乗った不審者に会ったら、①ナンバープレートの色、②車の色 ③男か女かを確認して、大人・警察に知らせる。
- 防犯ブザーを、すぐに鳴らせる場所に付ける。



「心の棒」を出して、不審者に近づかない

子ども達は、大声を出す、防犯ブザーを効果的に使うなど不審者から身を守る力を身に付けました。

## 「命」と「防犯ブザー」、どっちが大切? ～防犯ブザー着用 100%～



防犯ブザーには、知らせる効果と見せる効果があります。

2001年に池田小事件が起こり、2005年12月には、栃木県今市市で小学1年生の女儿が行方不明となった事件がありました。その後、学校では、不審者の被害に遭わないよう「防犯ブザー」の携帯と活用を進めてきました。

防犯ブザーには、不審者に警戒心を持たせる機能があります。実際に、栃木県において、防犯ブザーを身に付けた児童を狙わなかったという事例がありました。数百円のブザーが命を守ってくれたのです。

本校の実態として、防犯ブザーのランドセル等への着用は、1年生以外はたいへん低い状況です。通知でもお願いしましたが、ぜひとも購入し、ランドセルに付け、自分の命を守れるようお願いいたします。

## 算数の学力向上 ～学習サポーターによる放課後学習～

佐藤富子先生(市の学習サポーター)と伊藤智美先生(県のサポートティーチャー)のお二人に、放課後学習会を担当していただいています。

この学習会の目的は、四則計算のつまづきをなくし、算数の学力を高めることです。

全ての教科において、身に付けるべき学習内容を身に付けずに進級してしまい(積み残し)、そのことが原因で、新しい学習内容が身に付かなかったり、できるはずの計算が解けなかつたりしています。

今年は、四則計算に限定し、子ども達の積み残しを解消する取組として、放課後学習会を行ってまいります。



智美先生(左)と富子先生(右)

## 賞味期限切れ牛乳の混入について

9日(金)付け、地方紙2社の報道にもありましたとおり、本校には、4月16日付け2本、20日付け2本の賞味期限を過ぎた牛乳が4本混入しておりました。内2本を、子どもがそれぞれ4ml、40ml程度飲んでしまいました。幸い健康被害はありませんでしたが(12日現在)、校内における検収作業をさらに徹底し、再発のないように努力してまいります。

なお、混入した原因については、業者と教育委員が調査し、再発を防ぐよう努力してまいります。

たいへんご心配をおかけしました。今後とも、本校教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。